平成18年度 中間評価調書

機関名 アイヌ民族文化研究センター
 研究責任者 研究課長 吉原 敏弘
 研究担当者 研究職員 小川 正人

課題番号	ア文研一般1803		研究課題名	吉田巖関係資料の調査研究														
課題担当者	1 人		研究区分	研究	試験	調査	分析	各種施策等との関連性										
共同研究機関 (協力機関)	(帯広市立図書館)		第3次北海道長期総合計画) 大項目:たれもが安心して暮らせる住みよい社会を形成する 中項目:アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重され地位の向上が図られる社会の実現 小項目:アイヌ文化の保存振興とアイヌの人たちに対する理解の促進															
研究期間及び 所要見込額(千円)	15年度 ~ 19年度	前年度以前	当年度	翌年度以降	全体所要額													
		625 (625)	226 (226)	100 (100)	951 (一財 951)													
研究の概要	<p>研究背景</p> <ul style="list-style-type: none"> 吉田巖(1882~1963)は、帯広などで長く小学校の教員を勤め、退職後も帯広に住み、地域の歴史やアイヌ文化の調査研究を続けた。この吉田巖の遺稿資料は、次のようなアイヌの歴史や文化に関するものが含んだ、貴重な資料群である。 十勝のほか、勤務地であった胆振、日高のアイヌの歴史、文化に関する調査資料 没年までほぼ欠かさず記された日記・勤務した学校の経営や教育実践等の記録 アイヌ文化、郷土史、学校教育の関係者等とやりとりした多数の書簡 <p>これら遺稿資料は帯広市図書館が所蔵し同館において資料集の刊行を続けているが、これまでに刊行されたのは、そのごく一部にとどまっている。また吉田巖関係資料は道内外に多数存在しているが、それらの多くはまとまって収集・整理されていないなど、吉田巖関係資料をアイヌ文化・アイヌ史の学習・研究等に活用するための条件は未整備である。</p> <p>研究目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 遺稿資料のほか他機関所蔵の関係資料を含めた全体を見通す資料の収集と整理分析を行い、アイヌ史・アイヌ文化研究のための基礎的条件の整備を図る。 <p>研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯広市図書館所蔵の吉田巖遺稿資料を中心に、他機関所蔵資料の調査・収集を行い、これらの資料の総合的な整理・分析等を進めるとともに、総合的な索引の作成など検索方法を整備する。 <p>研究計画の適切性</p> <ul style="list-style-type: none"> 年次別の研究計画は、平成15年度:遺稿資料のデータ整理の準備、他機関所蔵資料の所在予備調査等 平成16~18年度:資料の収集、整理、主要資料(日記、書簡、帯広叢書等)のデータ化(目録化、関係資料調査等) 平成19年度:成果のとりまとめとしている。計画の立案及び各年度の実施に当たっては、帯広市図書館の協力を得て同館による資料整理事業と整合性を図って進めており、期間・経費ともに適切である。 			<p>直近の研究課題評価結果 平成16年度 中間評価 【自己評価】 A・B・C 【総合評価】 A・B・C</p>														
	研究の進捗状況	<p>研究計画に照らした進捗状況・目標達成度など(進捗度・目標達成度【a・b・c】)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在までのところ、当初の計画通り進んでおり、初期の目的にそった成果を達成できる見通しである。 年次別目標とそれに対応する実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画(事前評価調書記載)</th> <th>実績</th> <th>備考(当初計画からの変更点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成15年度 予備調査(他機関所蔵資料所在調査、遺稿資料の複写準備) 遺稿資料の調査収集</td> <td>他機関所蔵資料の所在調査(東京都、福島県相馬等) 遺稿資料のうち書簡資料のデータ整理</td> <td>遺稿資料(帯広市図書館所蔵吉田巖遺稿資料)の複写については、帯広市図書館においてH16~17年度に一括マイクロフィルム化することになったため、研究センターはこの事業に協力しつつ、資料の収集についてはマイクロ化をまっとうすることとし、H15~17はデータ整理を行い、H18に主要部分を紙焼き製本で備える予定で作業中である。</td> </tr> <tr> <td>平成16~18年度 遺稿資料の調査・収集(継続) 他機関所蔵関係資料(虻田町、幕別町、東京都等)の調査・収集 収集資料のうち未公刊部分の翻刻と内容分析 主要資料のデータ化</td> <td>遺稿資料の主要部分の収集(H18実施中) 他機関所蔵資料の調査・収集(虻田町、幕別町、東京都、つくば市)(H16~18) 未公刊資料の翻刻等:書簡資料の一部翻刻(H16~17) 主要資料のデータ化(既刊資料の検索用データ作成等)(H16~18)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成19年度 成果のとりまとめ</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						計画(事前評価調書記載)	実績	備考(当初計画からの変更点)	平成15年度 予備調査(他機関所蔵資料所在調査、遺稿資料の複写準備) 遺稿資料の調査収集	他機関所蔵資料の所在調査(東京都、福島県相馬等) 遺稿資料のうち書簡資料のデータ整理	遺稿資料(帯広市図書館所蔵吉田巖遺稿資料)の複写については、帯広市図書館においてH16~17年度に一括マイクロフィルム化することになったため、研究センターはこの事業に協力しつつ、資料の収集についてはマイクロ化をまっとうすることとし、H15~17はデータ整理を行い、H18に主要部分を紙焼き製本で備える予定で作業中である。	平成16~18年度 遺稿資料の調査・収集(継続) 他機関所蔵関係資料(虻田町、幕別町、東京都等)の調査・収集 収集資料のうち未公刊部分の翻刻と内容分析 主要資料のデータ化	遺稿資料の主要部分の収集(H18実施中) 他機関所蔵資料の調査・収集(虻田町、幕別町、東京都、つくば市)(H16~18) 未公刊資料の翻刻等:書簡資料の一部翻刻(H16~17) 主要資料のデータ化(既刊資料の検索用データ作成等)(H16~18)		平成19年度 成果のとりまとめ	
計画(事前評価調書記載)	実績	備考(当初計画からの変更点)																
平成15年度 予備調査(他機関所蔵資料所在調査、遺稿資料の複写準備) 遺稿資料の調査収集	他機関所蔵資料の所在調査(東京都、福島県相馬等) 遺稿資料のうち書簡資料のデータ整理	遺稿資料(帯広市図書館所蔵吉田巖遺稿資料)の複写については、帯広市図書館においてH16~17年度に一括マイクロフィルム化することになったため、研究センターはこの事業に協力しつつ、資料の収集についてはマイクロ化をまっとうすることとし、H15~17はデータ整理を行い、H18に主要部分を紙焼き製本で備える予定で作業中である。																
平成16~18年度 遺稿資料の調査・収集(継続) 他機関所蔵関係資料(虻田町、幕別町、東京都等)の調査・収集 収集資料のうち未公刊部分の翻刻と内容分析 主要資料のデータ化	遺稿資料の主要部分の収集(H18実施中) 他機関所蔵資料の調査・収集(虻田町、幕別町、東京都、つくば市)(H16~18) 未公刊資料の翻刻等:書簡資料の一部翻刻(H16~17) 主要資料のデータ化(既刊資料の検索用データ作成等)(H16~18)																	
平成19年度 成果のとりまとめ																		
今後の見通し	<p>研究開始後の事情変更の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に大きな事情の変更はないが、道内各地に予想以上の関係資料が散在していたことから、資料調査の回数を若干増やす必要が生じた。 <p>研究計画の見直しの必要性 (期間の妥当性【a・b・c】 経費の妥当性【a・b・c】)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな見直しの必要はないが関係資料調査の回数を増したため、次年度の調査旅費を見直し、全体所要額を増額する必要がある。 <p>期待される成果とその実現可能性、成果の有益性・活用可能性 (実現の可能性【a・b・c】 活用の可能性【a・b・c】)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果のとりまとめとして、吉田巖の著作目録、吉田巖関係資料目録、吉田巖の日記や主要な著作に関する検索用索引などをとりまとめた「吉田巖書誌」(仮称)を編さんする。これは、吉田巖関係資料及び吉田巖の著作を、アイヌ文化・アイヌ史・郷土史の資料及び素材として利用するに当たっての手引きとなり得るものであり、地域のアイヌ史・アイヌ文化に関する学習・教育研究の基礎資料として活用することが期待できる。 																	
【自己評価】	<p>【説明】 本研究は、膨大な資料を整理し遺稿内容を明らかにするとともに、各地に散在する関連資料の存在を明らかにするなど、着実に進捗しており、成果の方向性も明確なことから、引き続き研究を行う必要がある。</p>																	
【総合評価】	<p>【意見】アイヌ文化研究における貴重な資料の整備に向けて、帯広市立図書館等と連携を図りながら当初の計画どおりに取り組みが進められており、各地に散在する関係資料について新たに存在を確認するなど、資料の一層の充実が図られていることから、今後成果が確実に見込まれる。</p>																	